

※ 法蔵院庫裡建替え工事のため、参拝時、工事車両運行等で迷惑おかけしますが、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

檀信徒各位



2023.7.20



五劫山 法蔵院

《お盆行事のお知らせとご協力のお願い》

施餓鬼塔婆の申込は TEL : 046-848-0154 FAX : 046-848-4415

※ 7/24-7/27 は当山寺務所夏期休業。葬儀、FAX 受付可
※ ご不明な点等お問合せ下さい

お盆行事は、「生あるもの」が、「亡きご先祖様へ」の感謝の気持ちを形で表す大変良い営みです。墓所、ご仏壇をきれいに整え、精霊棚を作り、清らかな気持ちでご先祖様をお迎えください。下記のようにお盆行事を勤めます。万障お繰り合わせ、ご参詣ください。

【昨年との変更箇所】

1. 8/17 施餓鬼法要 **是非本堂へお参りください。**人数制限ありません。
2. 新盆を迎えるご家庭では、別添案内のようにご供養ください(新盆宅のみ同封)

施餓鬼会法要について 8/17 勤修

A) 施餓鬼会塔婆申込 施餓鬼塔婆回向料 金 4,000 円です。

◎申込方法：世話人様へ直接、又は別添塔婆申込書(郵送の方のみ同封)TEL/FAX でお申込ください

◎申込期限：案内着後 **8/10** 頃までをお願いします。

☆ 生前お世話になった両親、夫妻、近親者の供養は「先祖代々」でなく、「戒名」で塔婆供養しましょう。「先祖代々」とは50年を超える精霊を意味します。

☆ **故人様がお浄土で「成人式」を迎えるまではお戒名でご供養することをお勧めします。**

B) お施餓鬼(せがき)法要 8/17

塔婆申込施主の名前で受付してください/「本尊前」(布施)納めてください

先に客殿ロビーで受付を済ませてから、本堂にお参りください。

受付 9:00~11:00 回向(えこう) 10:00~12:00

受付 13:30~14:30 回向(えこう) 14:00~16:00

※ 客殿二階に、お茶を準備します。皆様お揃いで、ごゆっくりお休みください。

※ 回向間際の本堂内は混み合います。先に客殿2階でお休みいただいても結構です。

※ 参拝者様の駐車場は十分確保できません。公共交通機関にてご来寺ください。

※ 本堂前境内の駐車は人が多く危険です。係の指示に従ってください。

※ 幼稚園園庭を駐車場に開放します。駐車場、園庭利用は自己責任でお願いします。

※ お子様の遊具利用は禁止します。事故防止上ご協力ください。事故等の責任は負えません。

C) 施餓鬼法要以降のお塔婆の受取 8/17 施餓鬼法要に参列できない方

お塔婆お渡し時間：**8/18~8/22 10:00~16:30**/客殿ロビーにて塔婆をお受け取り下さい。

※塔婆受け取り後、本堂へお参りいただき、お墓へお塔婆を供えてください。

※FAX 等でお申し込みの場合、お塔婆受取時に代金を納めてください。

D) 永代施餓鬼塔婆回向料 (新加入料)他に法蔵院本尊様へ本尊前(お布施)寄進ください。

金 200,000円以上 施主様に代り法蔵院が50年間責任をもって供養いたします。

◎お墓掃除 8/3 (例年の客殿玄関ホールの冷水は感染対策でご利用いただけません。)

枯花、雑草は焼却炉へ集積。墓地内に捨てないこと。他の方の迷惑になります。
個人墓地内の樹木は120~160cmほどで施主様のお断りなく剪定いたします。

◎お墓回向 8/13~8/15 19:00~ 雨天時は本堂回向のみ

法蔵院檀信徒先祖供養=18:30~本堂にて/新盆供養併催。
本堂にて参拝焼香後、墓所でお灯明をあげ、ご先祖様をお迎えしましょう。
例年の客殿玄関ホールの冷水は感染対策でご利用いただけません。



◎お塔婆焼き回向 8/22 午前中 古い塔婆の供養。

お戒名が書いてある塔婆は、供養所へ納めてください。海側より山門に向かって右側。お地藏様、ゴミ焼却炉に捨てないこと。

◎ご家庭の盆飾りは家庭で処分してください。

※ 家庭の「**盆飾り、きゅうり、なす、果物等は寺に持込まない**」でください。

※ お寺の**焼却炉、塔婆焼き供養には出さない**でください。



施餓鬼会とは

仏教の世界では、六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天)を輪廻転生する
と考えられています。餓鬼道に落ちると、手足はやせ細っているにもかかわらず、
お腹だけ異様に膨れ、のどは飲食ができないほど細くなっています。

さらに常に口から火を吐き出しているため、食物を口に近づけても燃えてしまいます。

この餓鬼道は現生ではむさぼりの心、不平不満の心にとらわれ、他を省みない人が陥ると
されており、死後においても、何事も満たされないままの世界なのです。

この餓鬼に飲食を施す法要が施餓鬼会です。

その由来は、お釈迦様の十大弟子の一人である阿難(アナンダ)と、焰口(えんく)という餓鬼
との間で交わされた会話が元になっています。ある時阿難の前に、醜い姿をした焰口という
名の餓鬼が表れて告げました。「お前の命はあと3日。その後は餓鬼道に落ちる。助かりたい
なら、無数の餓鬼に飲食を施し供養しろ。そうすればお前は助かり、我々も餓鬼道から救
われる」阿難はすぐにお釈迦様に尋ねました。お釈迦様から説かれた餓鬼供養の方法を勤め
ると、餓鬼は極楽に転じ阿難も福德を増し、生きながらえることができた。

わたくしたち一人一人も、心の中のどこかに、餓鬼の心があるかもしれません。自ら心の栄
養を施しつつ、他への施しの心を持って施餓鬼法要に参列したいものです。



お墓に提灯をつけてご先祖様をご家庭にお連れしましょう。
 ご先祖様は、お墓に灯した提灯の灯りを目印に帰ってこられます。
 昔はその提灯の灯りを消さずにご先祖様と一緒に帰り、
 家庭でご仏壇へ灯りをともした時点でご家庭にお帰りになります。
 現在は、電車や車でお墓へ行くので提灯は消さなければなりませんね。



精霊棚(しょうろうだな)の飾り方

1. ご仏壇をきれいに掃除して、ご仏壇の前に机を置き 精霊棚を作ります。
2. ご先祖様の位牌を、仏壇から出して前机に安置します。
3. 前机は、白い布を敷き、その上に「まこも」のすだれを敷きます。ご先祖様にはお浄土から早く帰ってきていただくために、「きゅうり」の馬、ゆっくり戻っていただくために「なす」の牛を作り、初物の品々をお供えする。
4. 「水の子」→「なす」を 1 cm位のサイの目に刻み、その上にお米をパラパラとまき、蓮の葉（または里芋の葉等）の上に盛り 水を入れた容器とミソハギの枝をそえて供える。
5. 仏様にお参りするときは、ミソハギを加水渦（あかすい）を浸し、水の子へ三回水をつける。

P3

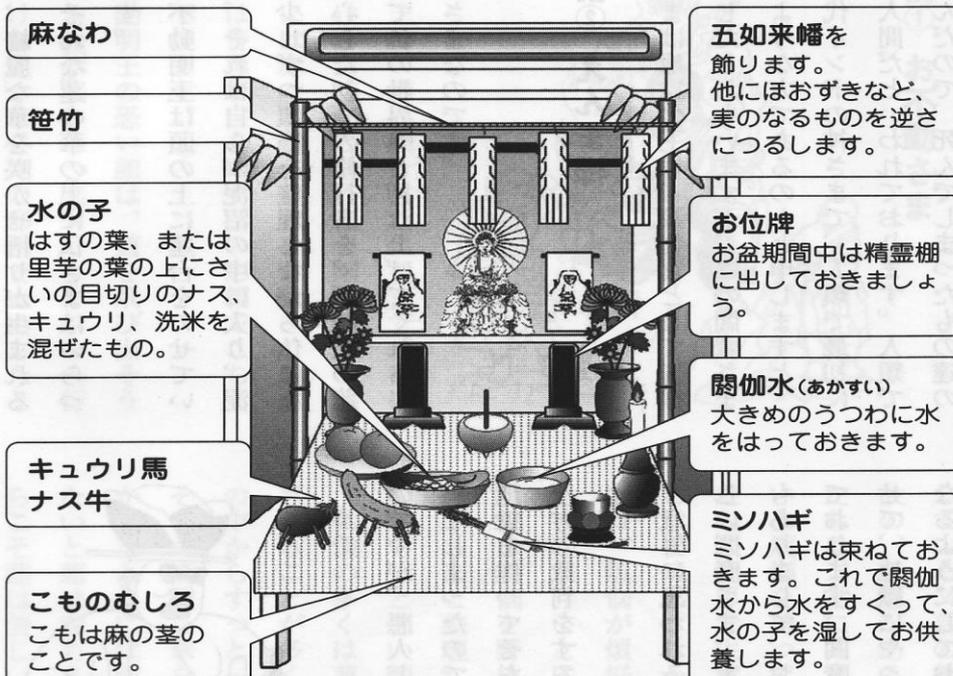
「水の子」のなすへお盆の3日間
 三食の度にあかすいの水をミソハギで3回
 かけてください。なす、ミソハギは少量で構
 いません。毎日変えましょう。



なぜ？なすに三度の食事の際水をかけるの？

皆様のご先祖様がすべて極楽へ往生しているとは限りません。生前の行いによっては地獄で苦しんでいるご先祖様がいらっしゃるかもしれません。地獄には、針、水、飢え、諸々です。火の地獄では食べようと口元まで持ってきた食事が火で燃えてしまいます。

燃えないように水をかけて先祖様に召し上がっていただくことです。





2022
施餓鬼法要



墓回向



塔婆焼供養



お盆

